

ISEKI

フロント3P

取扱説明書

JWFL120

JWFL120L

適用トラクタ：T JW108
T JW120

T JW108C
T JW120C

補 足 ズームトレッド（J）仕様トラクタ装着可

文書コード№：YDC6-850-9020-1

補 足 フロント3Pに作業機を装着し、除雪・雪割り等の押し作業，ならびに碎土作業をおこなう場合、別売りのヘビーデューティーフレームキットを装着してください。

	型 式	品 番
フロントローダ 未装着時	HDF-JWFL120	YDC6-850-0310-1
フロントローダ 共着時	HDF-JWFL120L	YDC6-850-0410-1

⚠ ご使用前に必ずお読みください。
いつまでも大切に保管してください。

⚠ 安全はイセキの願いです。

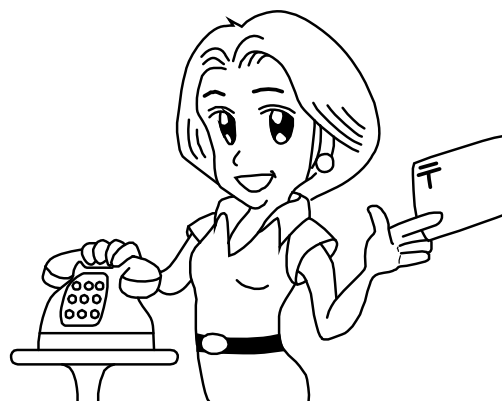
ISEKI

井関農機株式会社

このたびは弊社製品を お買い上げいただきありがとうございます。

はじめに

- この取扱説明書は**本製品**の正しい取扱方法と組付方法について説明しています。
ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき十分理解され、本製品を最良の状態で正しく安全に使用するためにご活用ください。
- お読みになったあとも、この取扱説明書を必ず大切に保存し、分からない場合は理解されるまで十分お読みください。
- なお、品質・性能向上などの理由で、使用部品の変更を行なうことがあります。
その際には、本書の内容および写真イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買い上げ店か、お近くの販売店・農協（JA）またはサービス工場にご相談ください。



- 下記マークが付いた項目は、安全上特に重要な項目ですので必ずお守りください。



危険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。



警告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



注意

その警告に従わなかった場合、けがを負うおそれのあるものを示します。

取扱注意

その警告に従わなかった場合、製品の損傷や故障のおそれのあるものを示します。

補 足

その他、使用上役立つ補足説明を示します。

目次

項 目	ページ
安全に作業するために	1
安全表示ラベルとその取扱いについて	5
各部のなまえ	7
仕様寸法	8
本製品の使用目的について	9
補修用部品の供給年限について	9
アフターサービスについて	9
操作方法	10
各部のはたらき	11
1 ロアリンク	11
2 トップリンク	13
3 ストップバルブ	13
4 アク्यूムレータ	14
作業機 取り付け・取りはずしのしかた	15
適正締付トルク表	20
点検整備	21

⚠ 安全に作業をするために

必ず読んでください

- フロント3Pを安全に使用していただくために、ここに記載されている注意項目を必ず守ってください。
- 下記の注意項目を守らないと、死亡を含む傷害や事故、製品の破損が生じるおそれがあります。
- 道路走行・駐車・日常点検および運転については、トラクタの「取扱説明書」に記載された注意項目も必ず守ってください。

一般的な注意

⚠ 注意

フロント3Pを使用する前には必ず本書とすべての安全指示よく読んで、理解した上で使用する

【守らないと】

重大な傷害、フロント3Pやトラクタの破損につながるおそれがあります。



⚠ 警告

こんなときは運転しない

- 過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できないとき。
- 酒を飲んだとき。
- 妊娠しているとき。
- 本書およびラベルの内容が理解できない人や子供。

【守らないと】

死傷事故につながるおそれがあります。



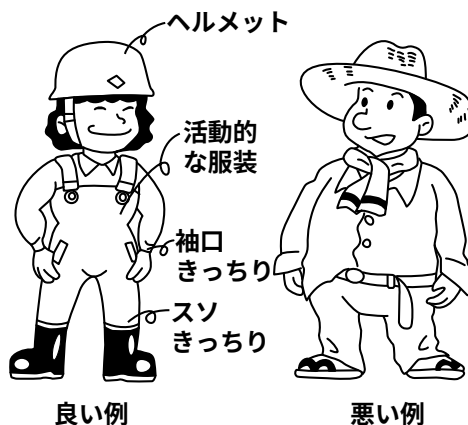
⚠ 警告

作業に適した服装をする

はち巻き・首巻き・腰タオルは禁止です。ヘルメット・滑り止めの付いた靴を着用し、作業に適した防護具などを付け、だぶつきのない服装をしてください。

【守らないと】

滑って転倒したり、製品の回転部に巻き込まれて死傷するおそれがあります。



作業する前に



危険

フロント3Pに取りつけた作業機やウエイトの下に手や足を入れない

【守らないと】

不意に作業機が急下降し手や足をはさまれ、死亡事故になるおそれがあります。



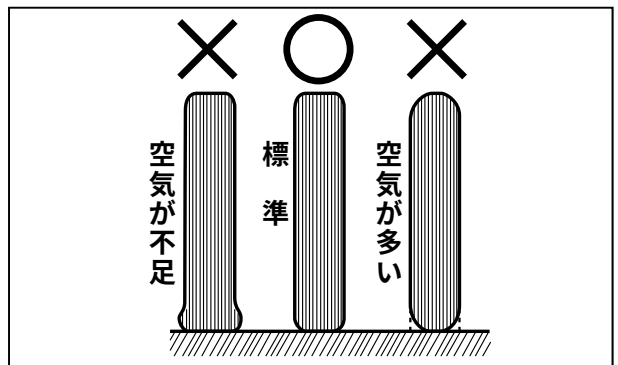
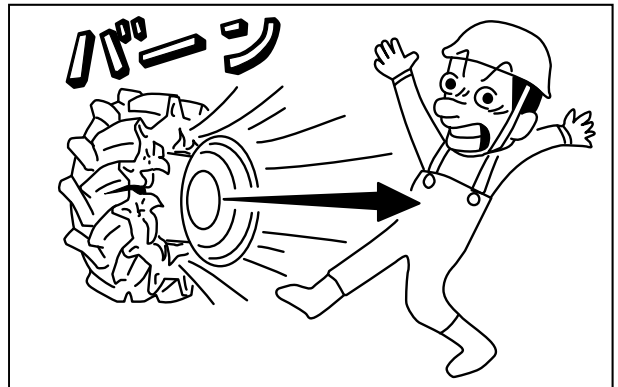
警告

タイヤの空気圧は、トラクタの取扱説明書に記載している規定圧力を必ず守る

- タイヤに傷があり、その傷がコード（糸）に達している場合は、使用しないでください。
- タイヤ・チューブ・リム等の交換・修理は必ず購入先にご相談ください。
（特別教育を受けた人がおこなうように、法で決められています）
- 前輪・後輪の空気圧が適正であるかを調べてください。

【守らないと】

空気の入れ過ぎ等でタイヤ破裂のおそれがあり死傷事故を引き起こす原因になります。



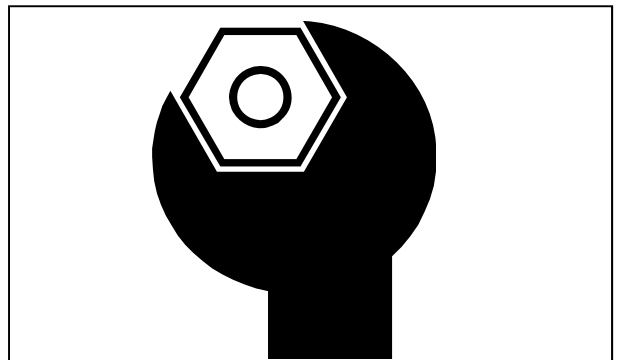
警告

フロント3Pを操作する前に、油圧配管のネジ部をしっかりと締める

安全のため、油圧ホースは2年毎に交換してください。

【守らないと】

継手やホースがはずれたり抜けたりして作業機が急下降し、死亡事故になるおそれがあります。





警告

高圧油に注意

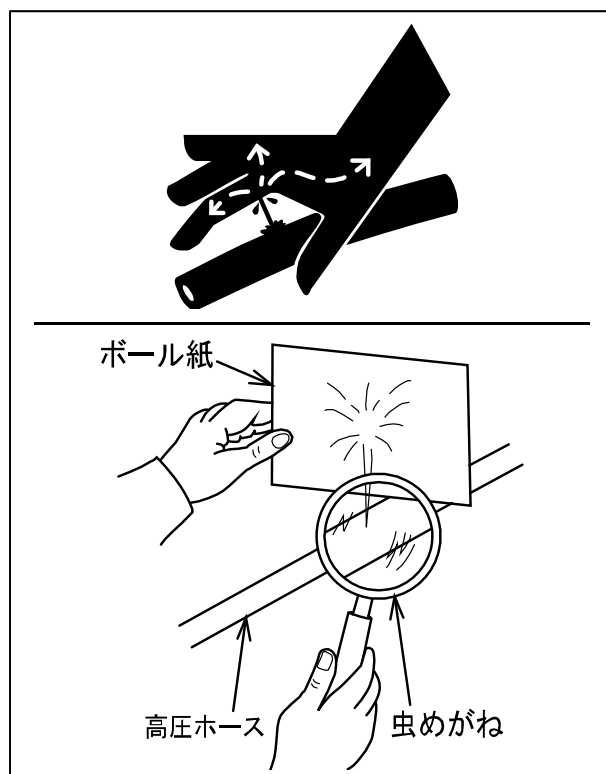
噴出する油を手足などでさわらない

作業中、ホースや油圧部品から油が噴出した場合は、すぐにエンジンを停止し、作業機を接地させ、油圧回路内の残圧を必ず抜いてください。

【守らないと】

高圧油は皮膚を突き破ることがあり、重大な傷害事故となるおそれがあります。

- 万一噴出した油が目に入ったり、皮膚に浸透した場合は水で洗浄した後、すぐに医師の処置を受けてください。
- 見えない小さな穴からの油もれを探すときは保護めがねをかけ、ボール紙などを利用して

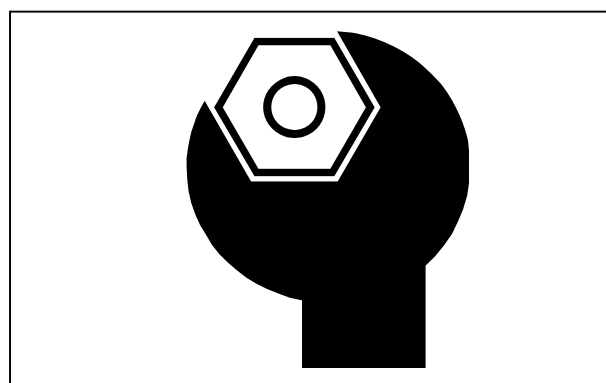


警告

フロント3 P組付け後 5時間作業した後は、必ずすべてのネジ部を規定の締付トルクで締めつける

また、作業 50 時間ごとに規定の締付トルクで締めつけてください。

締付トルクは 20 ページを参照してください。



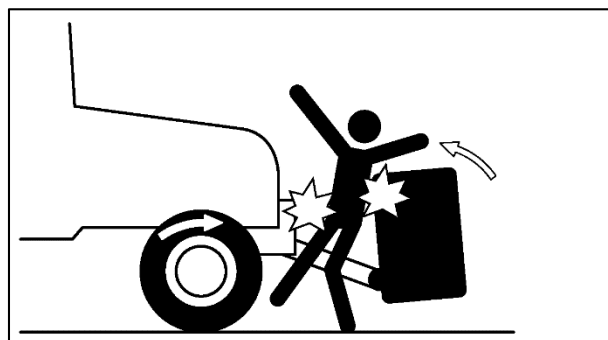
必ず読んでください



作業機の取り付け・取りはずし時は、トラクタと作業機の間立たない

【守らないと】

トラクタと作業機にはさまれ、傷害事故となるおそれがあります。



作業機の取り付け・取りはずしは、平坦で地面の硬い場所でおこなう

【守らないと】

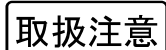
作業機が急に動いたり、傾くなどして傷害事故となるおそれがあります。



アキュームレータの「ON」「OFF」はフロント3Pに取り付けた作業機・ウエイトを接地または空荷にし、トラクタのエンジンを停止してから切換える

【守らないと】

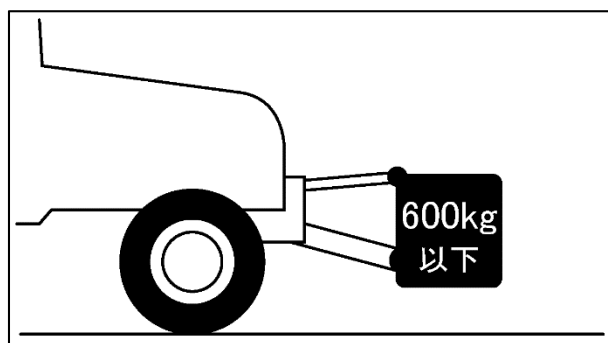
トラクタや取り付けた作業機（ウエイト）が急に動き、傷害を負うおそれがあります。



取扱注意
持上げウエイトは 600kg 以下にしてください。

【守らないと】

トラクタ前輪に過負荷がかかり、タイヤ破損の原因になるおそれがあります。



安全表示ラベルと その取り扱いについて

- 安全に作業していただくために安全表示ラベルの貼付位置を示したものです。
- 安全表示ラベルの内容詳細については、**次ページ**をご参照ください。
- 安全表示ラベルは、常に汚れや破損のないようにしてください。
- ラベルが汚れている場合は石けん水で洗い、やわらかい布でふいてください。
- もし破損または紛失した場合は、新しいものに貼り替えてください。



安全表示ラベルの手入れについて

- ラベルが汚れている場合は石けん水で洗い、やわらかい布でふいてください。
- 破損または紛失された場合は、下表を参考にお買い上げまたはお近くの「販売店」「JA」（農協）にご注文ください。
- ラベルが貼付されている部品を新部品と交換するときは、ラベルも同時に交換してください。

図番	コード	品 名	個数	適 用
①	YDC6-850-8910-1	ラベル	1	危険 40×70
②	YDC6-850-8920-1	ラベル	1	注意 35×85

安全表示ラベルの内容

必ず読んでください

フロント 3 P に貼付されている安全表示ラベルを下に示します。

①



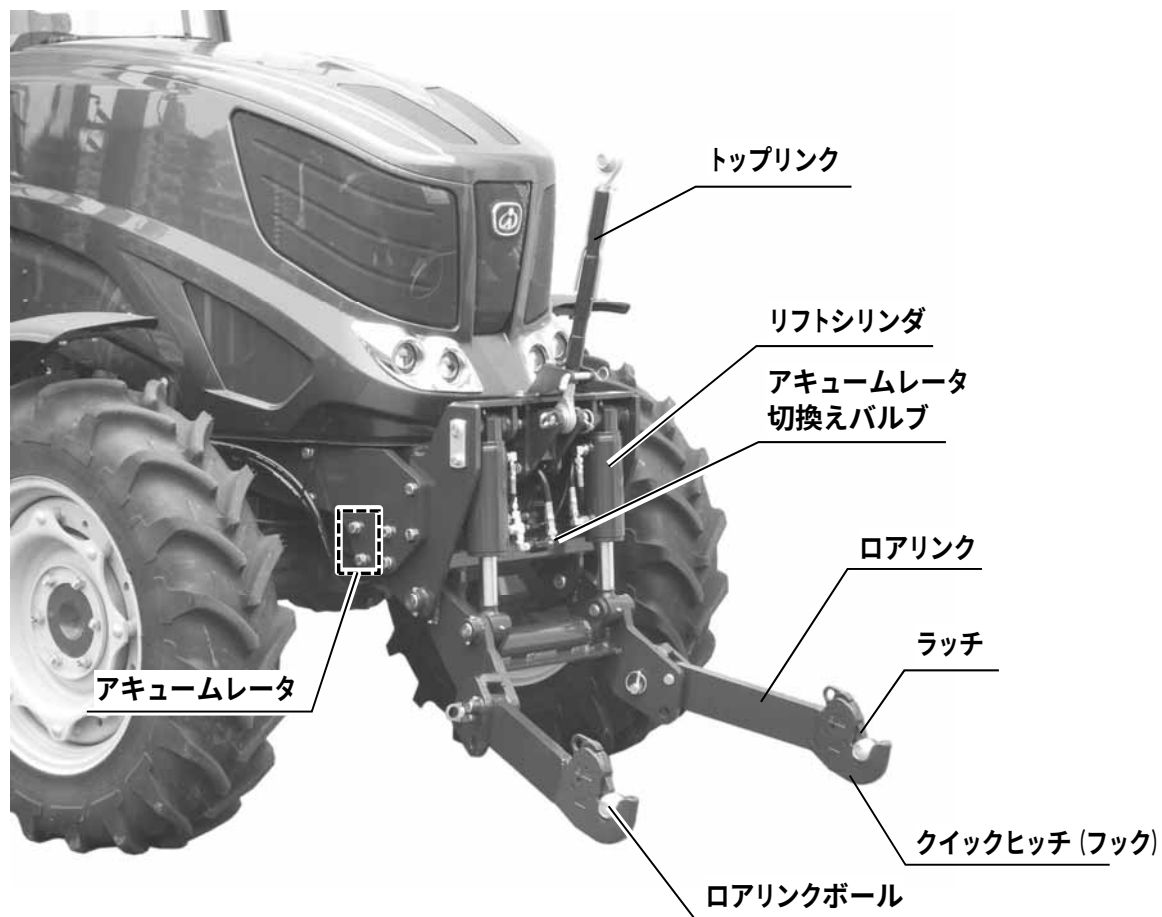
フロント 3 P に取りつけた作業機やウエイトの下
に手や足を入れない

【守らないと】
不意に作業機が急下降し手や足をはさまれ、死亡事
故になるおそれがあります。

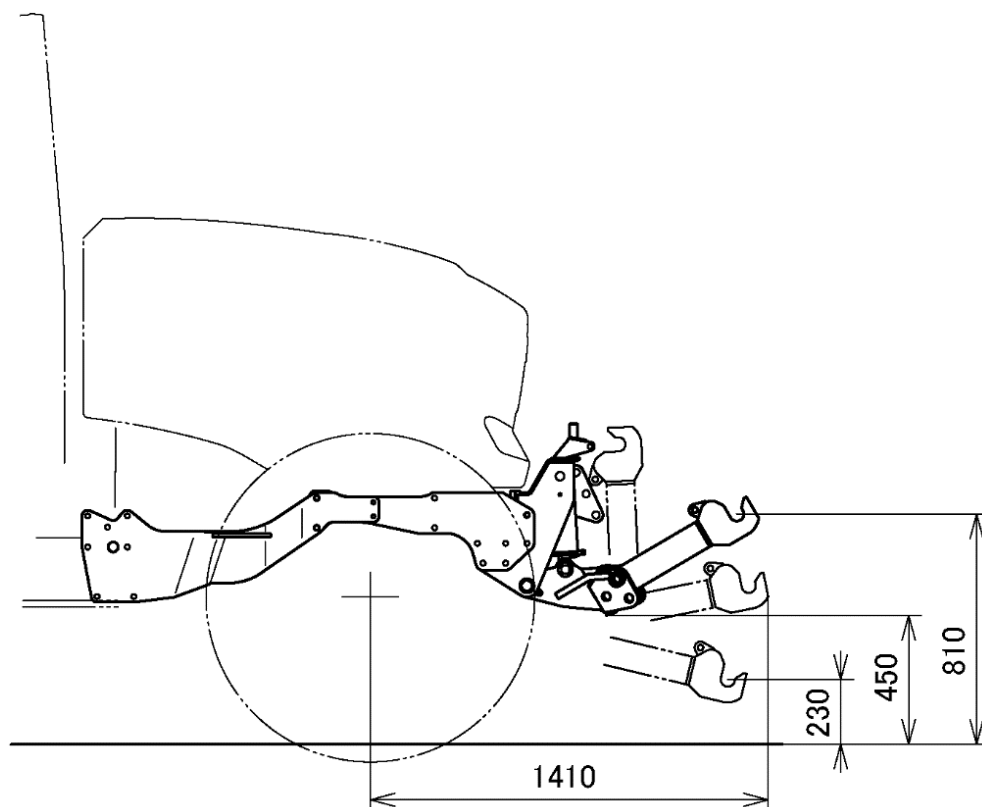
②



各部のなまえ



仕様寸法



注意 上記寸法は前輪タイヤが12.4R24、後輪タイヤが16.9R38の場合

型 式	JWFL120	
適用トラクタ	TJW108 TJW120	TJW108C TJW120C
持上重量	2800kgf ※クイックヒッチ ボール中心にて	
適用カテゴリ	II	

本製品の使用目的について

- (1) 本製品は、作業機やウエイト等の持上げに使用してください。
- (2) 本製品を使用目的以外の作業に使用したり改造しないでください。
使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりませんので注意してください。
- (3) 市販類似品等、純正以外の部品を使用した場合も同様に保証の対象になりませんので注意してください。

補修用部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後9年です。
ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合は、納期および価格についてご相談させていただきます。

アフターサービスについて

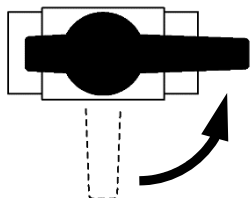
本製品の調子が悪いとき、点検・整備してもなお不具合があるときは、お買い上げいただいた販売店・J A（農協）またはサービス工場までご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- (1) 型式名
- (2) 製造番号（機番）
- (3) 故障内容（できるだけ詳しく）

操作方法

- 1) トラクタ後部、フロント 3 P のストップバルブを「開」にする。



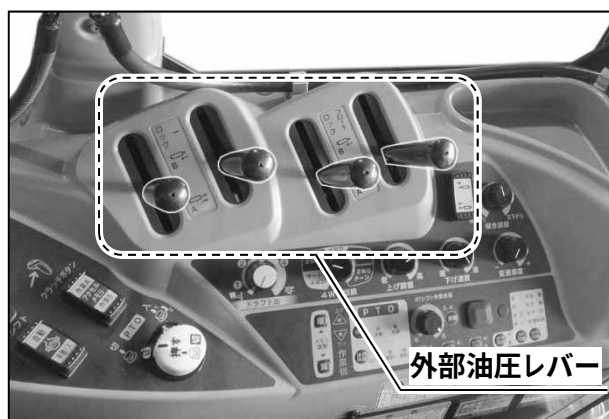
- 2) トラクタのエンジン始動する。



- 3) キャビン内、外部油圧レバーを操作。

補 足

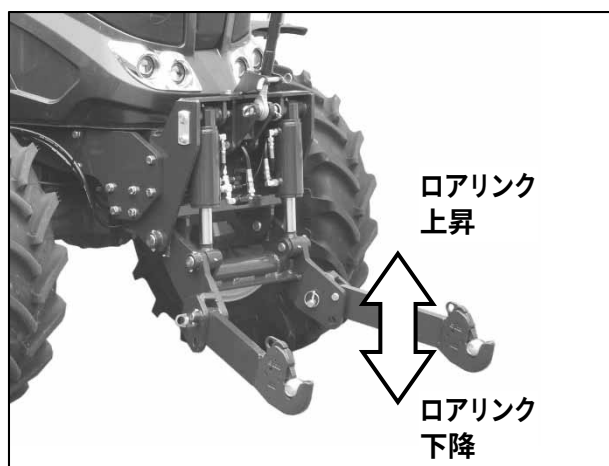
フロント 3 P の油圧ホースを接続したバルブのレバーを操作してください。



- 4) フロント 3 P のロアリンクが上昇（または下降）する。

補 足

フロントローダを使用する際は、ロアリンクを格納、トップリンクを取りはずしてください。



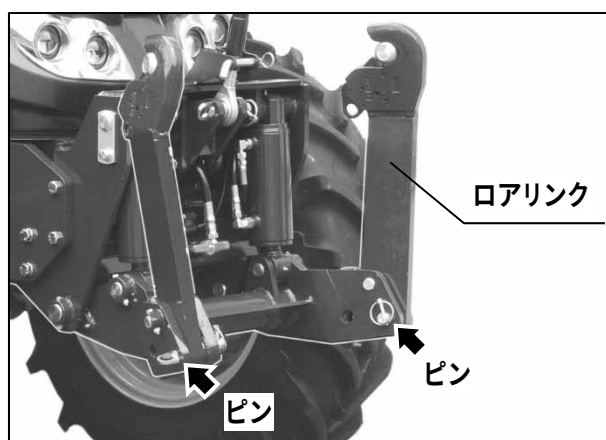
各部のはたらき

1 ロアリンク

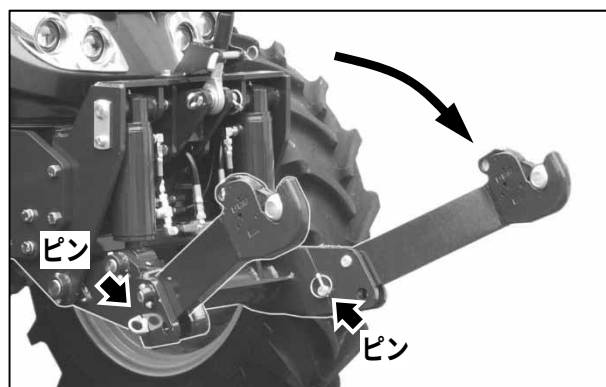
ロアリンクの使用

フロント 3 Pを使用する際はロアリンクを下げてください。

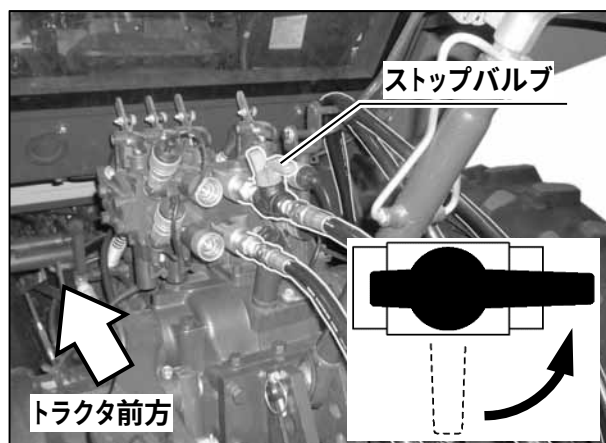
- 1) トラクタのエンジンを停止する。
- 2) ロアリンクの取り付けピンを取りはずす。(左右2箇所)



- 3) ロアリンクを下げた状態にし、抜いたピンで再び固定する。



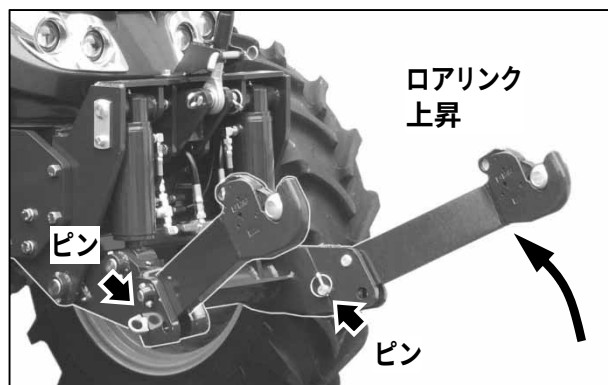
- 4) トラクタ後部のストップバルブを「開」にする。



ロアリンクの格納

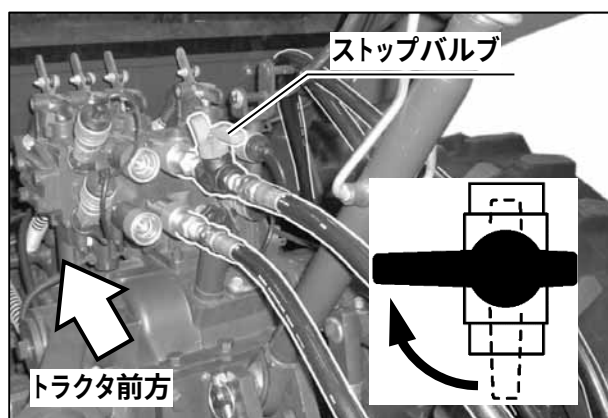
フロント 3 P を使用しない時、またはフロントローダを使用する際はロアリンクを格納してください。

- 1) トラクタのエンジンを始動する。
- 2) 外部油圧レバーを操作し、ロアリンクを最上げ位置にする。



- 3) エンジン停止。

- 4) トラクタ後部のストップバルブを「閉」にする。



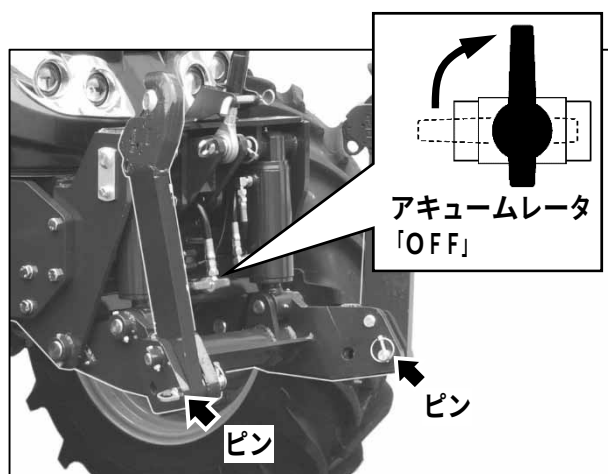
- 5) ロアリンクの取り付けピンをはずす。(2箇所)

- 6) ロアリンクを格納状態にし、抜いたピンで再び固定する。

取扱注意

格納しないとフロントローダ使用時、ロアリンクが干渉します。必ず格納してください。

- 7) アク्यूムレータを「OFF」にする。



2 トップリンク

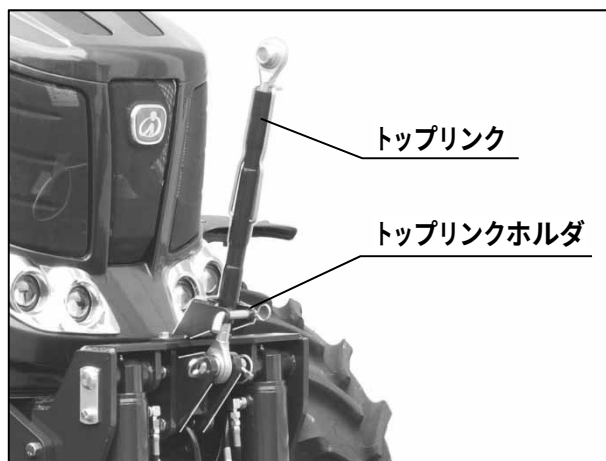
使用する作業機（またはウエイト）によって取り付け穴を選択してください。

トップリンクの格納

ロアリンクを格納し 使用しない時はトップリンクホルダにはめ込み、ピンで押さえてください。

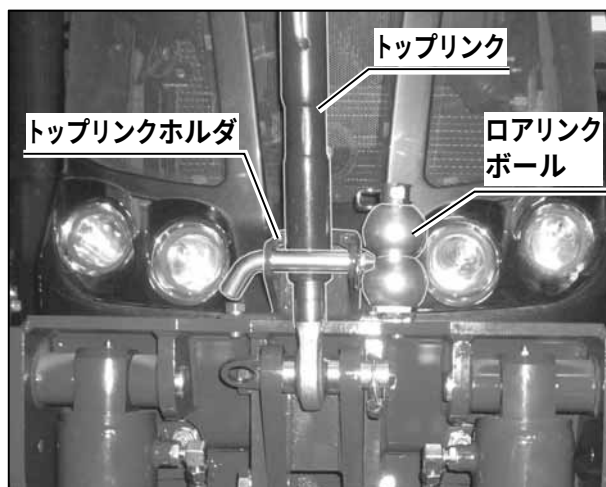
補 足

フロントローダを使用する際はトップリンクを取りはずしておいてください。



ロアリンクボールの格納

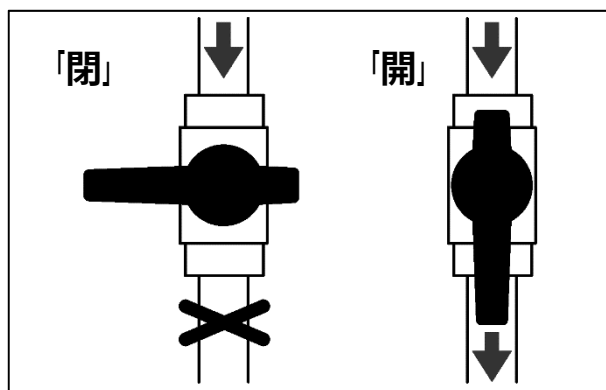
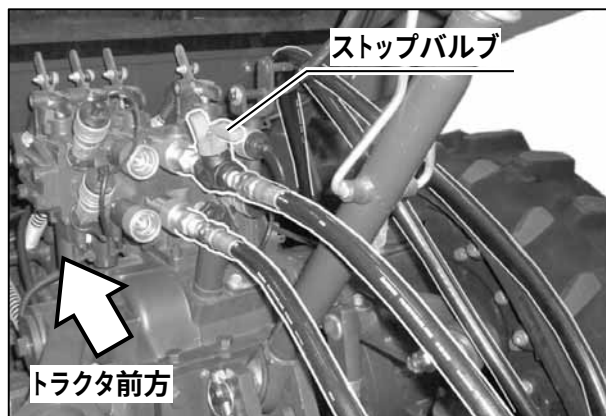
作業機（またはウエイト）を取りはずし、ロアリンクボールを使用しない時はトップリンクホルダに取り付け、パイプピンで落ちないように留めてください。



3 ストップバルブ

フロント 3 P のロアリンクが不意に下がらないよう、油圧を遮断するバルブです。
ロアリンク格納時や、フロント 3 P に取りつけた作業機（ウエイト）が下がらないよう固定する場合に使用してください。

「開」でロアリンクの上昇・下降ができます。
「閉」でロアリンクが固定されます。



4 アキュームレータ



注意

アキュームレータの「ON」「OFF」はフロント 3 P に取り付けた作業機・ウエイトを接地または空荷にし、トラクタのエンジンを停止してから切換える

【守らないと】

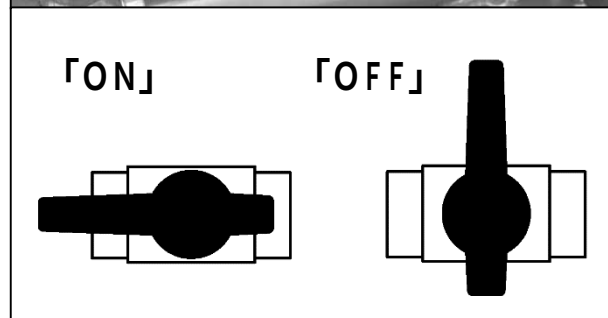
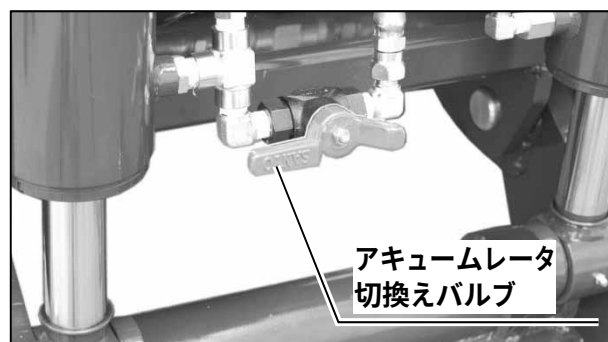
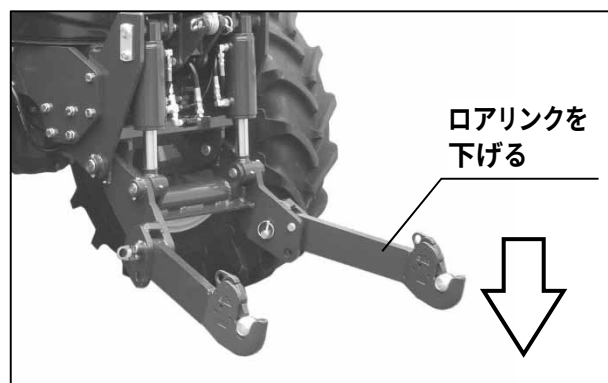
トラクタや取り付けた作業機（ウエイト）が急に動き、傷害を負うおそれがあります。

高圧ガスのクッションでフロント 3 P にかかる衝撃を緩和する装置です。

作業機（ウエイト）を取り付けて走行時にキャビンへ伝わる振動が緩和されます。

「ON」「OFF」切換え方法

- 1) トラクタのエンジンを始動する。
- 2) トラクタの外部油圧レバーを操作し、ロアリンクを下げる。
(最下降または作業機が接地するまで)
- 3) エンジンを停止する。
- 4) アキュームレータ切換えバルブのハンドルを 90° 回してアキュームレータの「ON」「OFF」を切換える。



作業機 取り付け・取りはずしのしかた

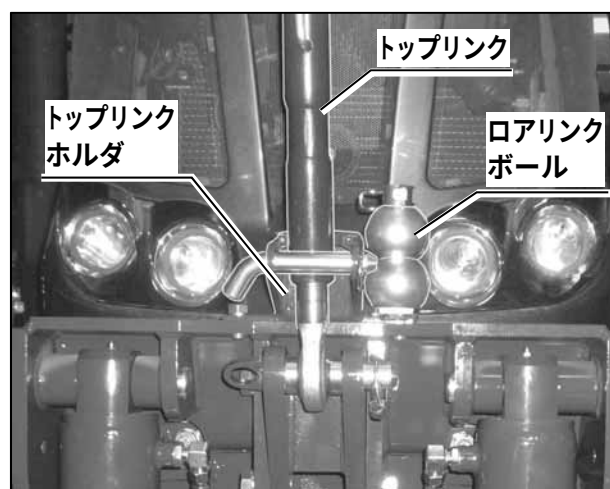
注意

- ① 作業機またはウエイトの取り付けまたは取りはずしは硬くて平らな場所でおこなう
- ② トラクタはできる限りゆっくりと前後進させる(2 km/h 以下)
- ③ アクセルをふかさない(アイドリングの状態でおこなう)
- ④ 可動部分に身体や手足を入れない
- ⑤ トラクタから離れる場合は必ずエンジンを停止し(OFF)、駐車ブレーキをかける
【守らないと】作業機またはウエイトが転倒してケガをするおそれがあります。

取り付け・取りはずし

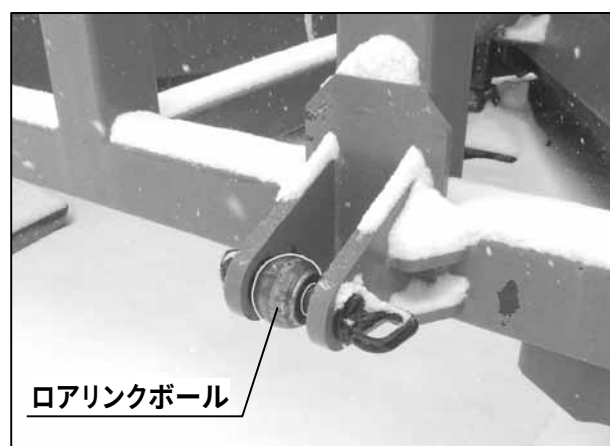
1 取り付け

- ① トラクタのエンジンを停止する。



- ② トップリンクホルダのロアリンクボールを取りはずす。

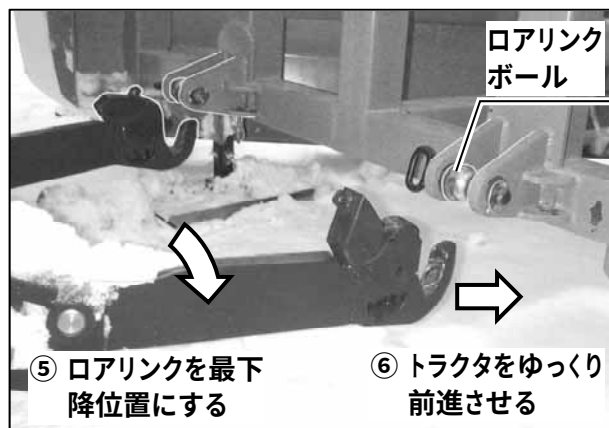
- ③ 取り付ける作業機(またはウエイト)のロアリンク取付部にロアリンクボールを取り付ける。(左右とも)



④ トラクタのエンジンを始動する。

⑤ トラクタの外部油圧レバーを操作し、ロアリンクを最下降位置にする。

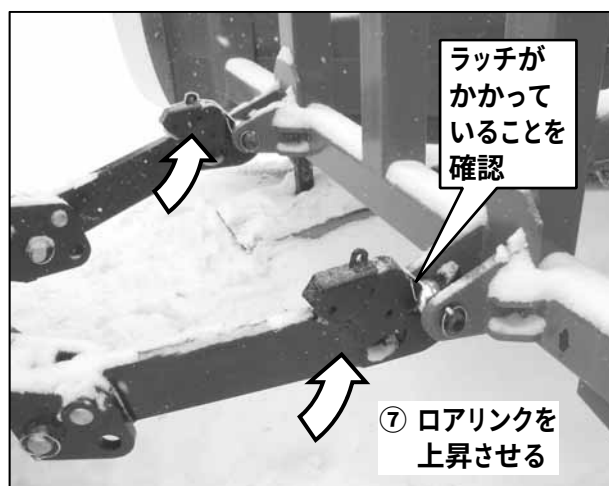
⑥ ロアリンクのクイックヒッチが作業機（またはウエイト）のロアリンクボールの真下に来るようトラクタをゆっくりと移動する。



⑦ トラクタの後部油圧レバーを操作し、ロアリンクを上昇させ、作業機（またはウエイト）をすくい上げる。（ボールがフックにはまり込みます）

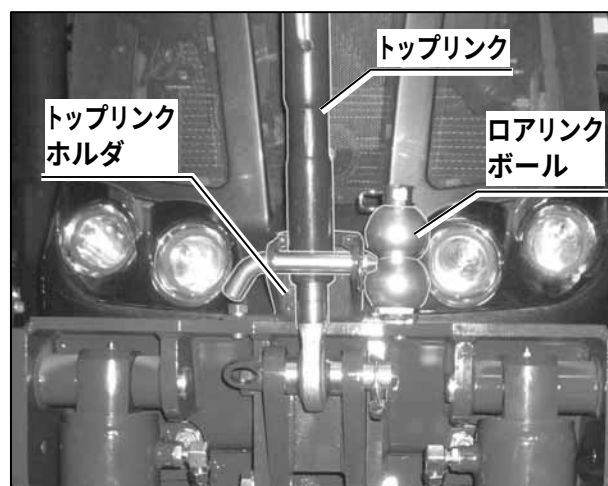
取扱注意

作業機の脱落防止のため、ロアリンクボールがラッチで確実にロックされているか確認してください。

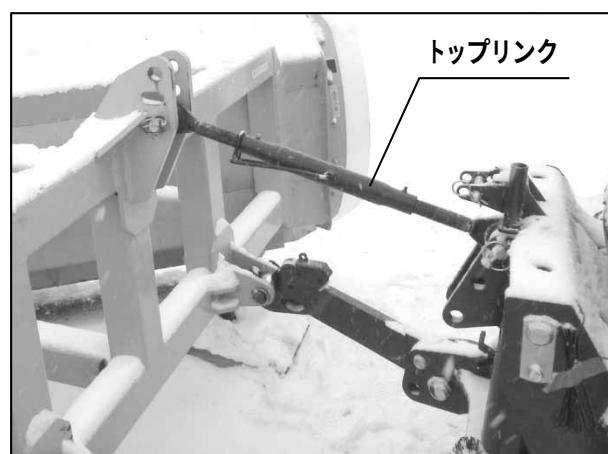


⑧ トラクタのエンジンを停止する。

- ⑨ トップリンクホルダのピンを抜き、トップリンクをはずす。



- ⑩ トップリンクを作業機（またはウエイト）に取りつける。



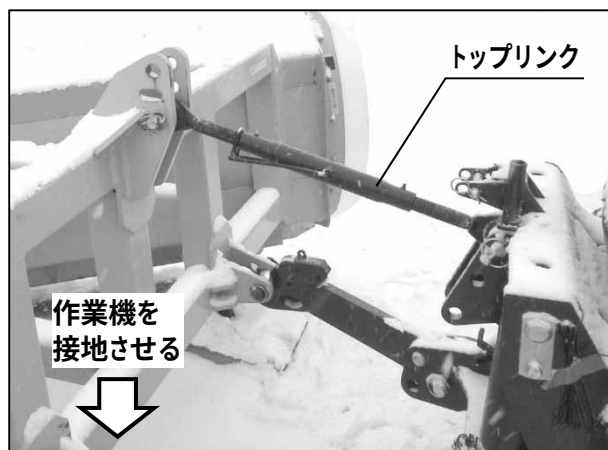
以上で取り付け完了です。

2 取りはずし

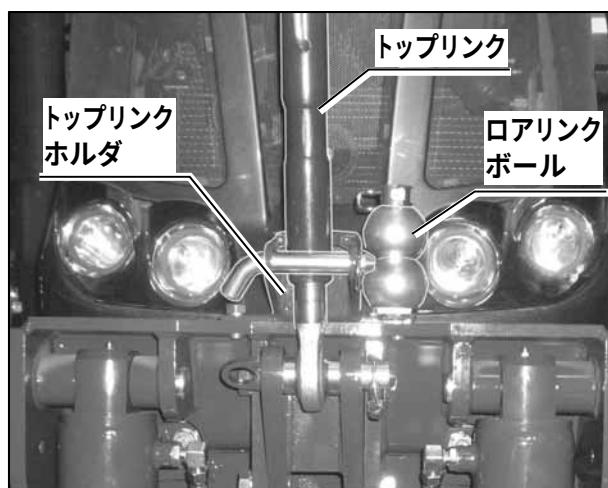
① トラクタのエンジンを始動後、後部油圧レバーを操作し、作業機（またはウエイト）を接地させる。

② エンジンを停止し、サイドブレーキをかける。

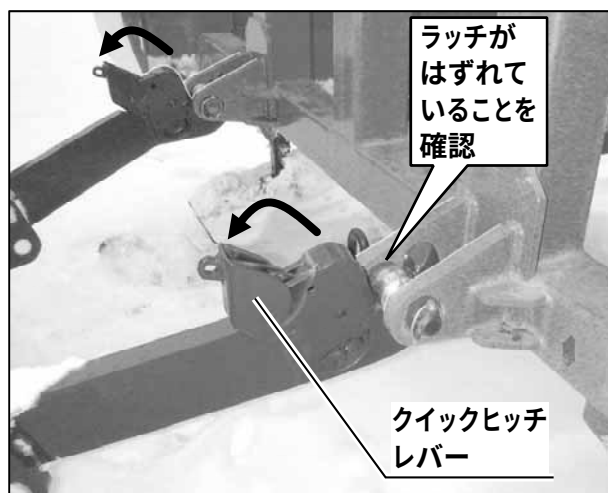
③ 作業機（またはウエイト）からトップリンクを取りはずす。



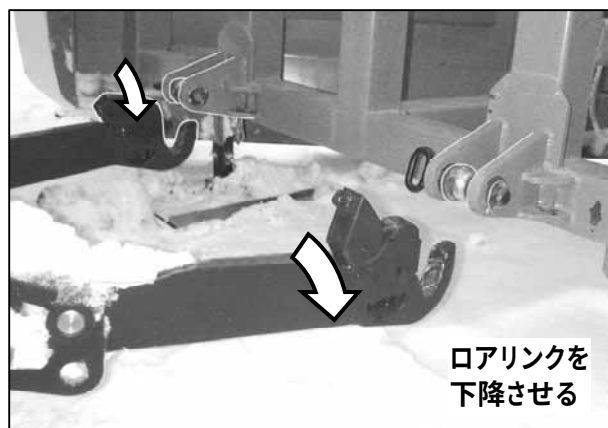
④ トップリンクをトップリンクホルダに固定する。



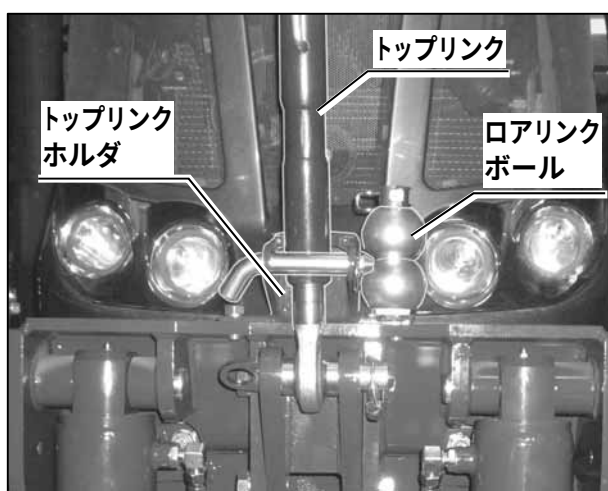
⑤ クイックヒッチのレバーを操作し、ラッチを開いておく。（左右とも）



- ⑥ トラクタのエンジンを始動後、後部油圧取出バルブを操作し、ロアリンクを下降する。
作業機またはウエイトがはずれたら操作をやめる。



- ⑦ ロアリンクボールを作業機から取りはずし、トップリックホルダにはめ込み、パイプピンで抜け止めする。



以上で取りはずし完了です。

適正締付トルク表

ねじの呼び	強度区分	並目ネジの場合		細目ネジの場合	
		単位：N・m	単位：kgf・cm	単位：N・m	単位：kgf・cm
M5	4 T (4.8)	2.9 ～ 3.9	30 ～ 40		
	7 T (8.8)	4.9 ～ 5.9	50 ～ 60		
M6	4 T (4.8)	4.9 ～ 7.4	50 ～ 75		
	7 T (8.8)	9.8 ～ 11.8	100 ～ 120		
	9 T (9.8)				
	10 T (10.9)				
M8	4 T (4.8)	11.8 ～ 17.2	120 ～ 175	11.8 ～ 16.7	120 ～ 170
	7 T (8.8)	23.5 ～ 30.4	240 ～ 310	25.5 ～ 32.4	260 ～ 330
	9 T (9.8)	26.0 ～ 35.5	265 ～ 365	28.4 ～ 38.2	290 ～ 390
	10 T (10.9)	33.3 ～ 43.1	340 ～ 440	36.3 ～ 46.1	370 ～ 470
M10	4 T (4.8)	21.6 ～ 30.4	220 ～ 310	21.6 ～ 30.4	220 ～ 310
	7 T (8.8)	45.1 ～ 57.9	460 ～ 590	47.0 ～ 60.8	480 ～ 620
	9 T (9.8)	51.0 ～ 65.7	520 ～ 670	53.9 ～ 69.6	550 ～ 710
	10 T (10.9)	66.2 ～ 80.9	675 ～ 825	66.6 ～ 81.4	680 ～ 830
M12	4 T (4.8)	41.2 ～ 58.8	420 ～ 600	41.2 ～ 58.8	420 ～ 600
	7 T (8.8)	79.4 ～ 93.1	810 ～ 950	87.2 ～ 102.9	890 ～ 1050
	9 T (9.8)	89.2 ～ 104.9	910 ～ 1070	98.0 ～ 117.6	1000 ～ 1200
	10 T (10.9)	117.6 ～ 137.2	1200 ～ 1400	124.5 ～ 147.0	1270 ～ 1500
M14	4 T (4.8)	54.9 ～ 78.4	560 ～ 800	54.9 ～ 78.4	560 ～ 800
	7 T (8.8)	122.5 ～ 147.0	1250 ～ 1500	137.2 ～ 156.8	1400 ～ 1600
	9 T (9.8)	140.1 ～ 164.6	1430 ～ 1680	151.9 ～ 181.3	1550 ～ 1850
	10 T (10.9)	182.2 ～ 214.0	1860 ～ 2180	196.0 ～ 235.2	2000 ～ 2400
M16	4 T (4.8)	82.3 ～ 117.6	840 ～ 1200	82.3 ～ 117.6	840 ～ 1200
	7 T (8.8)	196.0 ～ 230.3	2000 ～ 2350	205.8 ～ 245.0	2100 ～ 2500
	9 T (9.8)	220.5 ～ 259.7	2250 ～ 2650	235.2 ～ 274.4	2400 ～ 2800
	10 T (10.9)				
M20	4 T (4.8)	132.3 ～ 186.2	1350 ～ 1900		
	7 T (8.8)	333.2 ～ 447.9	3400 ～ 4570		
	9 T (9.8)	377.3 ～ 503.7	3850 ～ 5140		
	10 T (10.9)				

注意

1. ボルトの強度は、ボルトの頭に打刻してある数字で見分けます。
2. 締付ける前に必ず打刻数字を確認し、上表に従って締付けを行なってください。
3. 組付前に、ボルト及びナットのネジ部へ油を薄く塗布してください。
4. ただし、組付面や座金等には油を付けないでください。

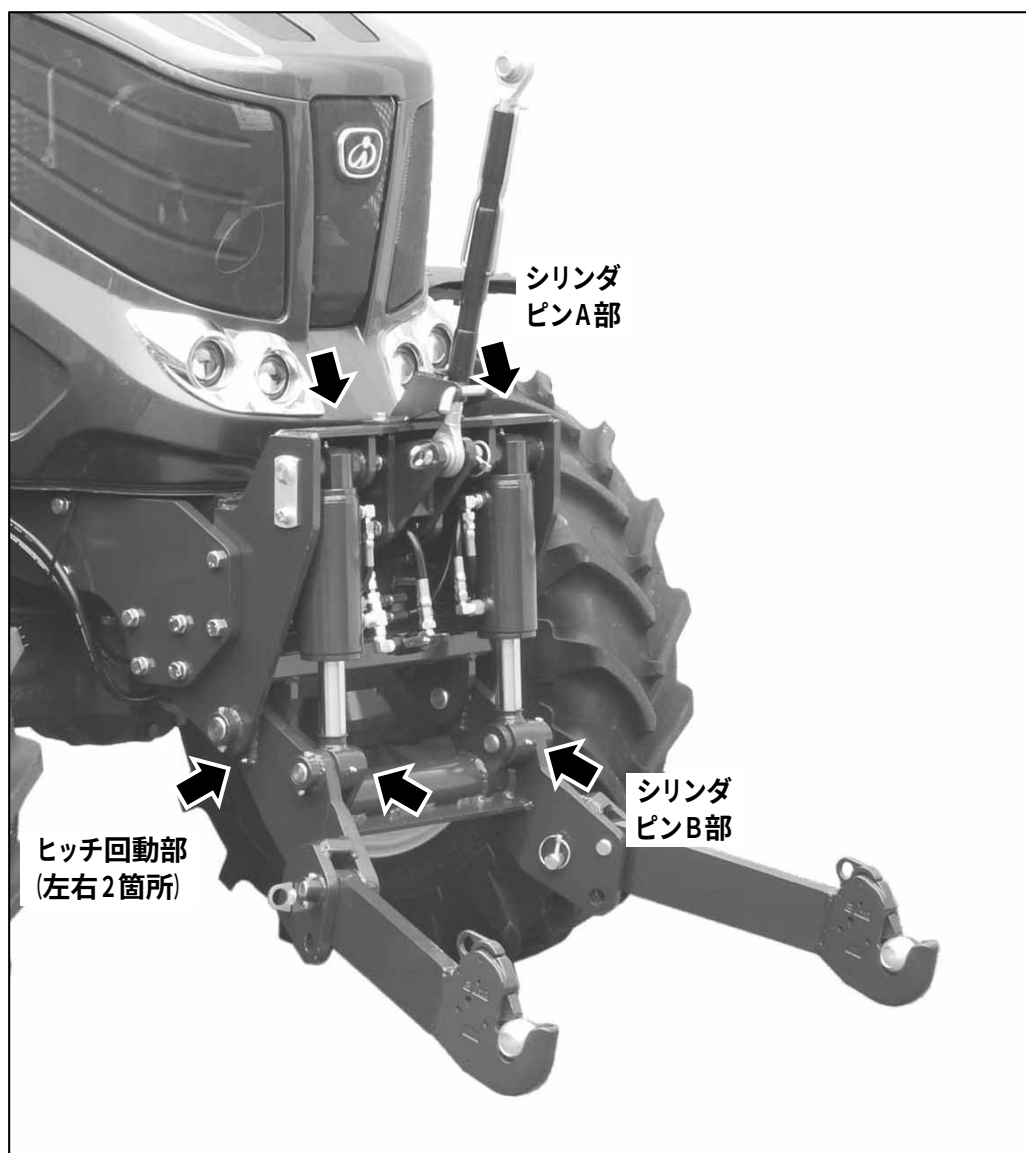
油圧継手締付トルク表

ネジサイズ	1/8	1/4	3/8	1/2	3/4	1/1
推奨トルク (上段：N・m) (下段：kgf・cm)	9.8 (100)	24.5 (250)	49.0 (500)	58.8 (600)	118 (1200)	137 (1400)

点検整備

グリスアップ箇所

- グリスアップ箇所は下記の通りです。（計6箇所）
グリスはリチウムグリスJ I S分類番号2号相当を使用してください。



【MEMO】

お客様メモ

購入日：平成 年 月 日

購入店名：

製造元

三陽機器株式会社



ISO9001
JQA-QM4853
本社・宝塚事業所

本社・工場
研究所 〒719-0392 岡山県浅口郡里庄町新庄 3858

TEL. 0865-64-2871 FAX. 0865-64-2874
ホームページ <http://www.sanyokiki.co.jp/>

宝塚事業所 〒665-0825 兵庫県宝塚市安倉西 4丁目2-25

TEL. 0797-83-0012 FAX. 0797-83-0312

東北センター 〒984-0002 仙台市若林区卸町東 1丁目9番23号 TEL. 022-236-8581 FAX. 022-239-7291

三陽サービス株式会社

本社 〒719-0392 岡山県浅口郡里庄町新庄 3858
札幌営業所 〒007-0806 札幌市東区東苗穂 6条 2丁目14-20号
仙台営業所 〒984-0002 仙台市若林区卸町東 1丁目9番23号
関東営業所 〒323-0827 栃木県小山市大字神鳥谷 222-1
大阪・岡山営業所 〒719-0392 岡山県浅口郡里庄町新庄 3858
熊本営業所 〒861-3106 熊本県上益城郡嘉島町上島 2500-3

TEL. 0865-64-4301 FAX. 0865-64-2874
TEL. 011-781-8777 FAX. 011-781-9742
TEL. 022-236-8581 FAX. 022-239-7291
TEL. 0285-22-2901 FAX. 0285-23-1549
TEL. 0865-64-4301 FAX. 0865-64-2874
TEL. 096-237-2007 FAX. 096-237-2029